

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年6月16日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年5月23日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	サンディエゴ州立大学(日本語名) San Diego State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年8月～2025年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: ジャーナリズム学部 現地言語での名称: Journalism and Media Studies  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 8月下旬 ～12月中旬 2学期: 1月下旬～5月中旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	39,241人
創立年	1897年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 155 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	
宿舍費	12,560	1,950,000 円	
食費		40,000 円	
図書費		0 円	
学用品費	400	62,000 円	教科書代など
携帯・インターネット費	140	22,000 円	esim 代
現地交通費		0 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
旅費(留学中)		200,000 円	教養娯楽費と合わせて
被服費		20,000 円	
医療費		100,000 円	予防接種と英文証明書
保険費		60,000 円	形態: 明治と SDSU の保険
渡航旅費		370,000 円	
ビザ申請費		40,000 円	
雑費		100,000 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	2,964,000 円	一ドル 155 円の計算
総計(A+B) ※円		2,964,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

渡航経路
往路 出発地：成田空港 目的地：サンディエゴ国際空港 経由地：バンクーバー国際空港 復路 出発地：サンディエゴ国際空港 目的地：成田空港 経由地：カルガリー国際空港
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： Air Canada 料金： 214,690 円 復路 航空会社： Porter, WestJet 料金： 約 32,000 円(トロント)まで、124,092 円(トロントから) ∴合計： 370,782 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名： ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名： 各エアラインの公式サイト ) <input type="checkbox"/> その他( )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： Tacuba) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法：
SDSU からの案内
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
3 人部屋の予定だったが、ルームメイトが一人も来なかったため、結局 1 人部屋として使えてとてもラッキーだった。個室でも同じスイートに 5 人一緒に住んでいたため、話す機会もたくさんあった。共用スペースには無料で使えるビリヤードがあったりして楽しかった。ただ、冷蔵庫が複数人で使うには小さいことと、料理をするためにはシェアキッチンまで全て持って移動しないといけないのが不便だった。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達に聞いた。また、キャンパス内で銃を使った事件が一度起きたが、大学からすぐにアラートが来て、寮にいるように言われたので、特に事件に巻き込まれたことはなかった。普段はとくに犯罪に巻き込まれるようなことはない。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的には問題なかったが、私の寮ではあまりWIFIの繋がりが良くなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを利用していた。現地でも銀行を開設して、友達間などでの送金用で使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

アジアマーケットがあるので、少し高いがほとんどの物はそこで調達できると思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Contemporary Media		
科目設置学部・研究科	Journalism and Media Studies	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(Zoom とビデオ)(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Austin Brumblay	
授業内容	国際社会における現在のマスメディアとニッチメディアに関して。理論や構造、歴史、実例などを学ぶ。	
試験・課題等	毎週の講義ビデオを見て、そのあとに自分で疑問に思ったことを投稿し、他の生徒の疑問に回答するという課題がある。クイズが全部で五回。	
感想を自由記入	アメリカのメディアの仕組みが大まかに分かって、日本と違うのが学んでいて面白かった。課題が少し多かったが、量が多いだけで内容はそこまで難しくないで成績も取りやすかったし、やりやすかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Hospitality, Recreation&Tourism Management	
科目設置学部・研究科	Hospitality & Tourism Management
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Alana Dillette
授業内容	ホテルやレストラン、アウトドアレクリエーション、旅行など、ホスピタリティーに関わる分野への理解を深める。講義やゲストスピーカー、グループプロジェクトなどを通して、観光業界で成功するために必要な知識やスキルを学ぶ。
試験・課題等	試験が2回、クラス内課題、ゲストスピーカーのリフレクションペーパー、イベント参加、履歴書、LinkedInの作成、グループプロジェクト、プレゼンなど。
感想を自由記入	個人的には一番大変だった授業。授業外での活動が必要な課題が多かったのでかなり時間を取られた。しかし実際にその業界で活躍されている人の体験や考えを聞く機会がとて多かったので、いい体験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Representation in the Media	
科目設置学部・研究科	Journalism and Media Studies
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が3回
担当教授	Annisa Charles
授業内容	ジェンダーや人種、階級、エスニシティなど、社会的に構築されたカテゴリーがメディアや制度をどう形成しているのか、また、メディアによってどう表現され、形成されているのかを学ぶ。広告、オンラインメディア、テレビ、映画など、さまざまなメディア機関での実例を通して考えを深める。
試験・課題等	毎授業後のリフレクションペーパー。オンライン、または授業内でのディスカッション。小さいクイズが数回。グループプレゼン。
感想を自由記入	秋学期で一番好きだった授業。現代だけでなく、昔の広告やCMを見てジェンダーや人種などの表現がどう変化してきているかを見るのが面白かった。日本とはまた違うアメリカのメディア表現が知れた。教授がとていい人だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cinema as Art	
科目設置学部・研究科	Television, Film and New Media
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Micheal Feinstein
授業内容	映画の歴史や社会的、文化的影響について学ぶ。映画撮影で使う技法にも触れる。毎授業映画鑑賞をする。
試験・課題等	毎週映画分析や感想などのレポート。講義内容に関するクイズが毎週。大きなクイズが3回。
感想を自由記入	この授業も面白かった。白黒映画だった時代から現代にかけての映画産業の変化が学べた。普段は気にしないような、映画撮影の技法に関しても知ることができて映画を見る目が少し変わる。授業時間は長いですが、半分ぐらいは映画を見ているので全く苦痛ではなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Composition for Multilingual Students I	
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jennifer Simpson
授業内容	英語を第一言語としない生徒向けに、大学レベルのアカデミックなエッセーの書き方を学ぶ。
試験・課題等	授業内でのワーク。試験2回。エッセー3つ。
感想を自由記入	英語が第一言語ではないという同じ状況の生徒と授業を受けることで、安心したし、逆に自分よりもはるかに流暢で刺激を受けることも多かった。いろんな国の友達もできたので、友達作りとしても良い授業だと思う。授業数は多いが、内容はそこまで難しくなく、ゆっくり進むので課題も無理なく終わると思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Art of Creating Emotions	
科目設置学部・研究科	Television, Film and New Media
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Ralph Blanchard
授業内容	映画の歴史やカテゴリー、技術を実際にいくつか映画を見ながら学ぶ。実際に映画の脚本を書いたり、ショートフィルムの撮影を行ったりする。
試験・課題等	脚本、ショートフィルムの撮影、期末テスト、授業中の軽いクイズやアンケート
感想を自由記入	講義の授業だが、授業の半分は映画を見ているので、とても楽しかった。授業中のディスカッションやグループワークも多いので、他の生徒と交流する機会も多くて楽しかった。また、実際に映画を脚本から全部作る経験はなかなかできないので、とても良い授業だったと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Two Dimensional Design	
科目設置学部・研究科	Art and Design
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、演習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が2回
担当教授	Jackie Lo
授業内容	構図や色彩など、二次元のアートについて学び、それを実践する。
試験・課題等	毎週の作品提出。数回のテスト。
感想を自由記入	ラインやステンシル、ロゴ作成、点描画など、様々なアートを学ぶことができ面白かった。毎週何らかの課題があつて時間がかかることもあつたが、授業内で終わらせることができればそこまで負担にはならないと思う。また、絵具やスケッチブックなど、必要なものは自分で揃えなければいけないのが少し面倒だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Composition for Multilingual Students II	
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Kendell Padrick
授業内容	英語を母国語としない生徒向けに、アカデミックなエッセーの書き方を学ぶ。秋学期のものとはほぼ同じ。
試験・課題等	授業内課題。試験2回。エッセー3つ。
感想を自由記入	内容は春学期に受けたものとはほぼ同様で、エッセーを書いていたので、得に難しいことはなかった。教授が常に上機嫌で良い人だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Media in the Digital Age	
科目設置学部・研究科	Journalism and Media Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(オンラインと対面)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が1回
担当教授	Annisa Charles
授業内容	SNSなどのメディアプラットフォームの歴史、発展や倫理的、戦略的利用法について学ぶ。
試験・課題等	毎週動画を視聴し、クイズに答える。動画の内容に基づいたレポートを提出し、対面授業の時に発表、ディスカッションがある。
感想を自由記入	アメリカのメディアに関する法律やSNSの活用法などについて学べて、日本とは違う点に気づくのが面白かった。二週間に一回対面の授業があって、その時にみんなの前で発表をしなくてはならなかったのが毎回緊張した。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	語学試験対策
	8月～9月	TOEFL
	10月～12月	書類提出、面接、結果発表
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ取得、予防接種など
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

サンディエゴ州立大学を選んだ一番大きな理由は気候です。ずっと温暖な気候で湿気がないことに加え、雨はほとんど降った記憶がなく、降ったとしてもすぐに晴れるのでとても快適に過ごせていました。気分が落ち込んだ時も、天気が良いすぎてそんなことを忘れられたので、留学先をサンディエゴにしてとても良かったと思っています。また、ビーチがあってサンセットがいつでも見られたり、ハイキングスポットがあったり、逆にダウンタウンやショッピングモール、アジアンマーケットがあったりと都会と田舎を掛け合わせたような場所とても落ち着くのと同時に利便性も問題ありませんでした。LAへも車があれば二時間ほどで行けて便利でした。加えて、メキシコが近くにあるからなのか、メキシコの文化が強く、町中にスペイン語が書いてあったり、メキシコ料理が多かった気がします。もともとメキシコ料理はほぼ食べたことがなかったのですが、この留学を通して好きになりました。スペイン語を習っていたら、サンディエゴでは割と使う機会があるのでおすすめです。

留学生活では、日本では関わらないような世代の違う人とも関わる機会が多かった気がします。大学の友達はもちろん、学外の大人や、友達の家族など、いろんな人と関わることができました。自分の英語力の無さから言いたいことが言えなかったり悔しいことが何度もありましたが、友達ともっと話したいという思いが一番のモチベーションになっていたと思います。また、大学の雰囲気としてはとても活気があって常に何かのイベントが学内で起きているという感じです。深夜一時まで学校主催のイベントがやっていたり、フリーフォードのイベントがあったり、パーティーがあったりと退屈することがないです。近くに別の大学もあって、そこで就活支援のイベントがやっていたり、新しい友達ができたりと、SDSUに限らず、いろんな交流の場に行くといいと思います。

留学に行くかどうかまだ迷っている方は思い切って是非行って見てほしいです！サンディエゴは本当にいい人ばかりで今では第二の故郷のように思っています。不安はあるかもしれませんが、サンディエゴの温かい空気に触れたら気持ちは絶対に軽くなるので行ってみてください！大学生に限らず、いろんな人と関わって、新しい価値観、文化に触れて、自分の世界が広がっていくのを感じると思います